

「eラーニング学習管理システム」機能整理表

資料5-1

区分	機能	概要	備考	
LMSに 共通する 基本機能	1 講座配信	<ul style="list-style-type: none"> ○受講者へ講座を配信する機能。 ○講座の提供、目次表示、講座画面・テスト・アンケートの表示ができる。 	仕様に制限はあるものの、パソコン以外に、スマートフォンやタブレットへの配信が可能。	
	2 受講者管理	(1) 受講者登録	<ul style="list-style-type: none"> ○LMSを利用するために、受講者個人の情報登録する機能。 ○受講者は、登録することにより、受講者専用のページ(マイページ)をベースにして、講座を受講できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①受講者自身が登録できるLMS(ID+パスワードの自動配信)と、②メールで申し込みのあった受講者の情報を、管理者が手動で登録し、ID+パスワードを通知しなければならないLMSがある。 受講者登録の項目は、ある程度自由に設定できる。
		(2) 学習履歴管理	<ul style="list-style-type: none"> ○受講者一人一人の学習進捗率やテスト結果を参照する機能。 ○csv形式でデータを出力することができる。(管理者はExcelで分析可能) 	
		(3) 問合せ管理	<ul style="list-style-type: none"> ○問合せの受け付けや対応記録の管理、よくある質問の作成、お知らせやメッセージの送信など、受講者とのやり取りに関する機能。 	管理者から受講者へのメッセージ機能がある。
	3 講座管理	<ul style="list-style-type: none"> ○講座の開設、目次作成、教材登録など、受講者が学習するためのコンテンツを登録・管理する機能。 	<ul style="list-style-type: none"> 講座の目次、講座、テスト、アンケートを組み合わせ提供する。表示動作もコントロールできる。 修了証を発行できないLMSもある。 	
	4 管理者管理	<ul style="list-style-type: none"> ○管理者登録、権限などの管理を行う機能。 	管理者を階層化して、グループ管理できる。	
	5 SNS	<ul style="list-style-type: none"> ○受講者同士が、感想や意見交換を行える機能。 ○管理者や講師も発言可能。 		
LMS によっては 備わっている機能	6 教材作成	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドや音声、動画を使用した教材を作成する機能。 	教材作成機能のないLMSの場合は、別途教材作成ソフトを購入する。	
	7 施設研修管理	<ul style="list-style-type: none"> ○施設研修の空き状況管理や講座案内、出欠状況、成績など、研修全体を管理する機能。 		

(参考1) LMSの導入型式

- LMSの導入型式には、「ASP型」と「オンプレミス型」がある。

表 ASP型とオンプレミス型の特徴

項目	ASP型	オンプレミス型
	ベンダーが所有するLMSを、インターネットを通じて利用する方法	組織内のサーバでLMSを管理し、eラーニングを実施する方法
コスト	初期費用は小。 運用に係るコストが中心。登録者数や同時アクセス数で課金される。	初期費用は大。 運用時に係るコストは、サーバ・ソフトウェアの保守費用等。大人数の利用が前提。
設備	インターネットに接続が可能であれば、利用できる。	専用サーバや回線など、組織内の設備を利用する。 データセンターやベンダーが提供するクラウドを利用することも可能。
システム導入・運用	基本的に不要。(ベンダーが実施)	導入準備及び運用に、人員が必要。
運用サポート	簡単な受け答えであれば、ベンダーが実施。 ※ベンダーにより、サービスに差がある。	問合せ対応の窓口を設置する必要がある。
セキュリティ	インターネット利用上のリスクがある。	安全性は高い。
カスタマイズ	基本的には不可。 オプション機能としてLMSに付加する形で、カスタマイズ可能なベンダーもある。	コストが必要だが、ニーズにあったカスタマイズが可能。
納期	すぐにeラーニングがスタートできる。	LMSの導入に時間がかかる。
コンテンツ	音声、動画なども利用可能。 ただし、使用するデータ量等によって費用が変動する。	音声、動画なども利用可能。

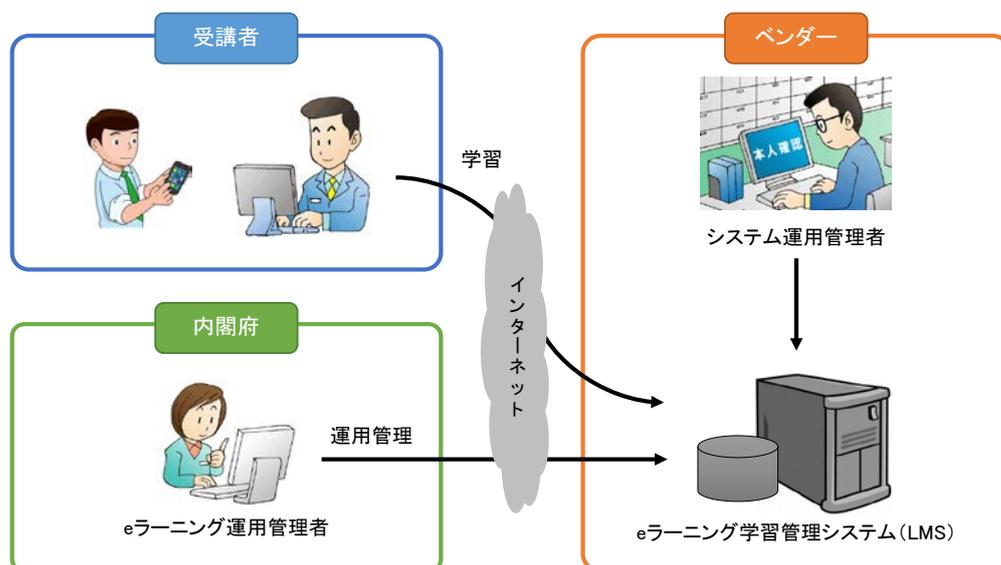


図1 「ASP型」のeラーニング運用イメージ

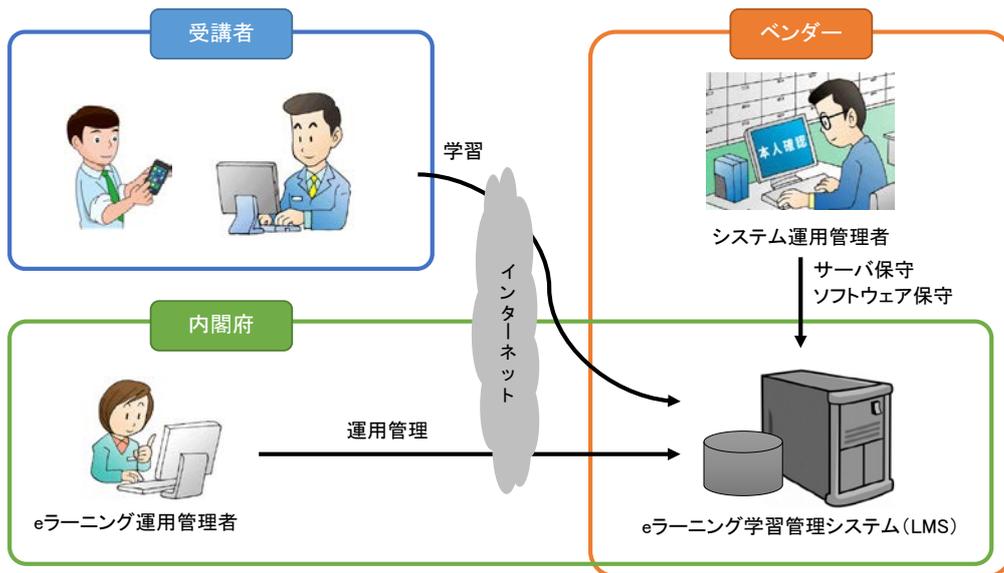


図2 「オンプレミス型（ベンダー所有のサーバを利用）」のeラーニング運用イメージ

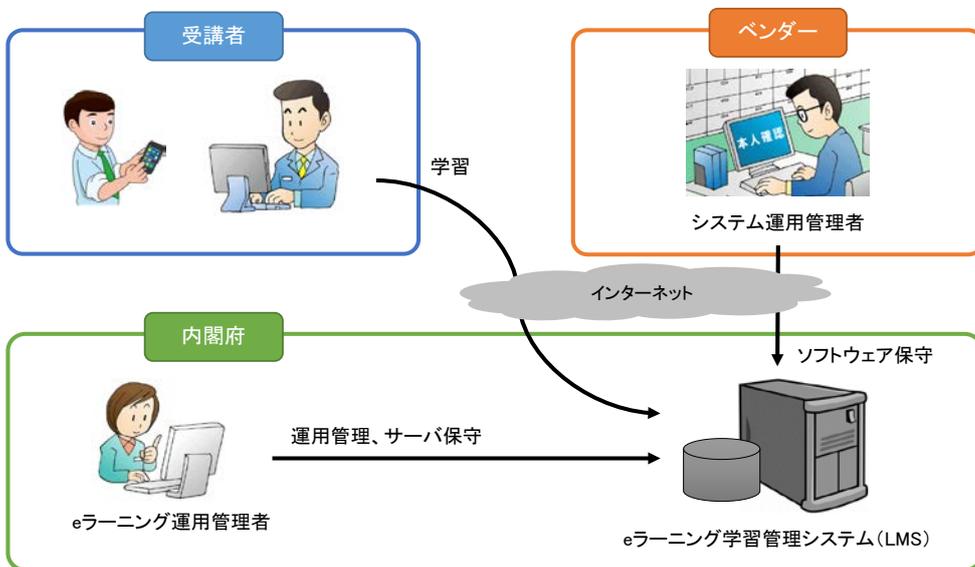


図3 「オンプレミス型（内閣府内のサーバを利用）」のeラーニング運用イメージ

（参考2） LMSの選定のポイント

- 「防災スペシャリスト養成ISP」の実現に適した機能があること
- LMS提供ベンダーが提供するサービス面と価格面が適性であること